

学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例(令和6年度版)

学校名	南さつま市立川畑小学校	児童生徒数	61 人
-----	-------------	-------	------

○ 令和5年度 振り返りの実際

成果	
毎時間、ロイロノートで同じ様式のシートを使い、学習態度や学習内容に係る振り返りを行った。学習態度に係る振り返りは4段階で行い、学習内容に係る振り返りは視点を大きく6つに絞って自由記述で行うことで、より明確な自己評価ができるようにした。 また、振り返った内容はペアやグループで交流したり、学級全体で発表したりすることで、学習の理解を深めたり、新たな気づきを得たりすることにつながった。	
課題	
できたことや分かったことだけでなく、自分の思考や友達との関わりの中で分からなかったことが分かるようになったり、できなかったことを今後の自分の課題に位置付けたりすることが十分でなかった。学習者がより主体的に考え、学びを深めていける振り返りの在り方を検討していく必要がある。	

○ 令和6年度 振り返りの実際

改善策	
【振り返りカードの改良と視点の明確化】 カード内に本時のめあてや、自身が選択した学習方法を示せるようにすることで、自分の課題や学習方法について振り返りやすいようにした。 また、振り返りの視点には「わ・で・か・い・も」を示し、学習内容と自身の活動への振り返りに焦点化することで、振り返る内容をより明確にした。	
成果等	
「わ・で・か・い・も」の視点で、分かったことをより具体的に書いたり自分の学習活動や友達との学習について振り返ったりすることができるようになった。また、課題を見つけ、それに対する解決案について記入するなど、自分で学ぶ力・友達と学ぶ力が育まれていることがうかがえた。	
【7月(左)と12月(右)の児童の振り返りカード】	